

第17回 環境心理生理チュートリアル

「行動観察調査における作法と技法 ～人の行動から心理を読み解く～」

主催：一般社団法人日本建築学会 環境工学委員会 環境心理生理運営委員会 環境心理小委員会
日時：2017年9月19日（火） 13:30～17:30
会場：建築会館 301+302 会議室（東京都港区芝 5-26-20）

質的データの一つに「行動観察データ」がありますが、人の行動からその背景にある心理を捉えるためには、適切な方法で観察しなければなりません。さらに、得られたデータを定量的に示すためにもデータ分析に工夫が必要です。しかしながら、行動観察の手法や分析方法については、論文に詳しく書かれているものは少なく、データを適切に抽出するためのノウハウを学ぶ機会は少ないでしょう。

そこで今回は、「行動観察調査における作法と技法」というテーマでチュートリアルを開催します。建築計画分野や環境心理生理分野の第一線で活躍されている研究者が、どのように行動を観察すればよいか、観察の手法やポイントや得られた行動観察データの解析・分析方法、データの表現方法、行動観察データから読み解けることなど、行動観察の調査計画からデータ取得、分析・表現方法に至るまで、研究・調査を成功に導くためのポイントを様々な実践的ノウハウを交えて解説します。また、最後に講演への質疑及び参加者の皆様が個々にお持ちの疑問を会場にて募り、お答え致します。

行動観察手法を初めて用いた研究・調査に取り組もうとお考えの卒論や修論を控えた学生諸君、実務者の方々、関連分野の研究者の方々など、多くの皆様の参加をお待ちしています。

<プログラム>

1. 開会の挨拶

辻村 壮平（茨城大学）

2. 講演・解説

-13:30～14:20-

2-1. 行動観察を行うときの留意点（データの収集方法）

佐々 牧雄（関東学院大学）

-14:20～15:10-

2-2. 行動観察データの表現方法

佐藤 将之（早稲田大学）

<休憩（20分）>

-15:30～16:20-

2-3. 行動観察調査で何がわかる？（データから考察への繋がり）

渡辺 秀俊（文化学園大学）

-16:20～17:30-

3. 質疑応答：環境心理調査よろず相談

講演への質疑及び参加者の皆様が個々にお持ちの疑問を会場にて募り、お答えします。

参加費：会員 2,000 円、会員外 3,000 円、学生 1,000 円（資料代含む、当日会場でお支払いください）

定員：70 名（申し込み先着順）

申込方法：本会 HP「催し物・公募」よりお申し込みください。

問合せ：日本建築学会事務局 事業グループ 中村

TEL：03-3456-2057 E-mail：nakamura@aij.or.jp